

地域資源マネジメント学科

学科のアドミッション・ポリシー(AP:入学者受入の方針)

<求める入学者像>

(知識・実技)

1. 高等学校で履修する範囲の基礎学力又は専門的な知識及び実技力を有している。

(思考・判断)

2. 目標を達成するために、地域の産業、文化・観光、スポーツ・健康に関わる様々な事象を、多面的視点から論理的に考察し、自己の考えをまとめることができる。

(興味・関心・意欲・協働)

3. 地域社会の持続可能な発展に関心を持ち、積極的に関わろうとする意欲を有している。

4. 様々な人々とグループワークしながら、主体的に問題の発見とその解決に取り組む姿勢を有している。

(技能・表現)

5. 他者の意見を理解し、自己の考えを口頭又は文書でわかりやすく表現できる。

学科のカリキュラム・ポリシー(CP:教育課程編成・実施の方針)

地域資源マネジメント学科は、地域資源に関する幅広い専門知識及び研究能力、これらの資源を実社会で活用・創造等ができるマネジメント能力を養い、多様な地域ステークホルダーとの協働を通して地域の資源を活かした活動によって地域社会再生に貢献できる人材を育成するために、次の方針に基づいてカリキュラムを編成します。

1. 地域資源に関する基礎知識とその活用、ならびにマネジメントに関する専門科目を必修化し、さらに、地域資源の幅広い学問領域において、専門知識を融合する思考力を涵養し、体系的に修得するため、学科科目を配置します。

2. 高学年次は、学問系列(コース)ごとに分けて各資源に関連する専門的実践力を涵養する履修コース科目を、選択必修科目として配置します。

3. 地域社会の課題解決に取り組み、社会共創力を身に付けるためにアクティブ・ラーニングを展開します。

4. 地域社会の再生と活性化に向けて、サーバントリーダーシップを発揮し課題解決へと向かうべく、共通の教育手法として、コースもしくは複数のコースが協力して行うフィールドワークを展開します。また自己確立とキャリア探究の基礎を構築するインターンシップ科目を配置します。

5. 地域資源のマネジメント及び多様な地域ステークホルダーとの協働をコーディネートする知識の涵養と自己の将来設計のために、他学科専門力育成科目のみならず、共通教育科目や自他大学他学部科目までの相互連携により、幅広い学問分野の履修を推奨します。

6. 社会共創力の修得に向けて、ゼミナールを設けて少人数教育によって取り組む学位認定科目群を配置します。卒業研究・自由課題研究を設け、少人数教育によって懇切丁寧な個別指導を行います。卒業認定に向けたこれまでの正課教育・準正課教育・正課外活動での学習の振り返りを行った上で学位認定に必要な知識や情報を収集し、自ら課題解決の策定及び成果発表をサポートする社会共創演習科目も併せて配置します。

学部のディプロマ・ポリシー(DP:卒業認定・学位授与の方針)

<学習の到達目標>

(知識・実技)

1. 地域資源に関する基礎知識と農山漁村の特長ある産業、文化・観光、スポーツ・健康に関する専門的知識及び実技力を修得し、これらの知識や収集した情報を活用する実践力を身に付けている。

(思考・判断)

2. 地域社会で生じる諸課題を発見し、その課題を解決に向けて的確に考察し、資源活用の観点から総合的判断ができる。

(興味・関心・意欲、態度)

3. 地域資源を活用した地域社会の再生と活性化に、自ら積極的に関心をもち続けることができる。

4. 地域資源を活用した地域社会の再生と活性化へと導こうとする意欲を有し、地域社会の諸課題の解決に取り組むことができる。

(技能・表現)

5. 地域資源を活用した地域社会の再生と活性化に必要な情報を収集・整理・分析できる。

6. 自己の思考・判断のプロセス及び結果を他者にわかりやすくプレゼンテーションできる。

(リーダーシップ)

7. 地域資源を活用した地域社会の再生と活性化に向けて、サーバントリーダーシップを発揮することができる。